

2023 年度授業開講方針（コロナ禍の対応）

2023 年 1 月 25 日

国際開発研究科長

名古屋大学の 2023 年度授業実施方針の決定に伴い、国際開発研究科では以下のとおり 2023 年度授業実施方針を下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

なお、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、年度途中で変更する可能性があります。

教育活動（講義科目・演習）

（1）開講方法

感染防止措置を徹底したうえで、対面での実施を原則とします。

なお、教育効果が高いと研究科が判断した授業科目はオンラインで開講します。

（2）対面で参加できない場合の対応

以下の理由により、対面で授業参加できない学生のために、授業担当教員の判断により、Zoom、Teams またはその他のオンライン会議システムを使って開講する場合があります。

①新型コロナウイルス感染症の陽性者(※)及び濃厚接触者

※陽性証明及び陰性証明の提出は求めません。

②体調不良者（発熱、喉通、倦怠感）

③その他、特別な理由のある学生（当該授業の担当教員に相談すること）

大学の方針はこちらをご確認ください：

「新型コロナウイルス感染拡大状況下での対応（2022.9.7～）」

https://www.nagoya-u.ac.jp/info/upload_images/20220202_02.pdf

（3）その他注意事項

- ・教員が濃厚接触者となった場合は、オンラインで開講することがあります。
- ・オンライン参加者は質問の時間が与えられます。
- ・教員及び学生は屋内においては、マスクを着用してください。ただし、2m距離を置くことができる場合で会話がほとんどない場合、マスクの着用は必要ありません。
- ・窓の一部とドアを開放し、換気に努めてください。

入館

（1）GSID への入館

- ・体温が 37.5℃以上の場合は入館しないでください。
- ・GSID 建物内では 3 密（密接、密閉、密集）を回避してください。

- ・1mの社会的距離を保ってください。
- ・マスクを常に着用してください。

(2) 院生室の利用

- ・窓とドアを開放してください。
- ・院生室では、静粛に努め、オンライン授業を受講しないでください。

(3) 演習室の利用

- ・個別指導や授業をオンラインで受講する場合、院生室ではなく、空いている演習室をWi-Fiアクセスポイントとして利用するようにしてください。

(4) 学生ラウンジ (2階)

- ・2階階段前の学生ラウンジに加え、2階205号室も使用できますが、会話は控えてください。

(5) 食事の場所

- ・院生室または屋外を利用してください。

(6) 研究・教育以外の学生活動

- ・GSID棟内で行う場合、感染防止に留意してください。

博士学位審査関連

博士後期課程学生の間接報告、予備審査及び口述試験は、主指導教員の判断により対面、オンラインまたは併用による実施とします。